

第三者意見

第三者意見



一般社団法人 経営倫理実践研究センター 首席研究員
東京交通短期大学 名誉教授(元学長)

田中 宏司

大変優れていると評価できること

第1に、タクマグループは、「CSR経営」を基盤として、社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現している姿を、「会社案内 CSR報告書2017」として理解しやすくまとめ、すべてのステークホルダーへ適切な説明責任を果たしています。

第2に、トップメッセージにおいて、経営理念のもと「持続的成長の実現」を目指すものとして、第11次中期経営計画(2015~2017年度)を鋭意推進するとともに、「2020年度に経常利益100億円」を掲げて、事業の拡大と発展につながる方針を明示しています。

さらに、CSR経営の基盤として、社是、経営理念、タクマグループ会社倫理憲章およびタクマグループ会社行動基準を定め、全員が実践に努め健全な企業風土を醸成することにより、事業を通じて社会的使命を遂行しており見事です。

第3に、会社案内として会社概要、事業概要、タクマグループネットワークについては、タクマの歴史、組織図、決算概要を踏まえて、環境エネルギー事業、民生エネルギー事業、設備・システム事業、ネットワークの現状等を、写真と図解を活用して簡潔に説明しています。

第4に、特集「地域との共生を目指して」では、DBO事業への取り組みについて、3社との連携を現場の写真、ステークホルダーのメッセージ、関係者の声を交えて、具体的に報告しています。次いで事業展開としては、一般廃棄物処理プラント事業、エネルギープラント事業、水処理プラント事業、海外市場における事業、主な納入物件について、現場写真、図解、関係者の声を交えて、丁寧に説明責任を果たしています。

第5に、CSR活動については、GRIやISO26000の7つの中核主題を参考に、項目ごとに重要課題、CSR課題、担当部門、実施計画、実施状況の自己評価について、全体を一覧表にまとめているほか、項目別に活動状況を写真、図解・図表、お客様からのメッセージ、関係者の声などを交えて、CSR活動を通じた価値創造の実情を丁寧に説明しており、高く評価できます。

さらに、社会の関心が高い企業統治については、コーポレート・ガバナンス、内部統制、コンプライアンス・CSR推進体制、リスクマネジメント体制、事業継続計画(BCP)、IR活動について、ステークホルダーへの説明を丁寧に行い、社会からの要請に答えています。また、環境については、環境基本方針、環境マネジメント、タクマのCO₂削減技術に基づき、CO₂大幅削減という成果をあげています。

さらなる発展を期待すること

第1に、将来に向けたCSR活動について、GRIやISO26000の中核主題を参考にまとめた総括表に、社会の関心が高まっているESG(環境・社会・ガバナンス)およびSDGs(持続可能な開発目標)についても、具体的に関連づけておくことを提案します。

第2に、タクマグループは、基本的人権尊重や差別行為の禁止について、タクマグループ会社倫理憲章および会社行動基準や就業規則等に、定めています。そこで、この際タクマグループの人権方針としてまとめて示すことをお勧めします。また、人権に関する取り組みを加えることで、社会からの信頼が一層高まることでしょう。

第三者意見を受けて



取締役 執行役員
コンプライアンス・CSR推進本部長
兼 コーポレート・サービス本部長

田中 康二

「会社案内 CSR報告書2017」の発行にあたりまして、一般社団法人経営倫理実践研究センターの田中宏司様より貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

本書は、タクマグループが社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現するために取り組んでいるさまざまな活動につきまして、ステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、ステークホルダーや関係者の声を交えて、わかりやすく、具体的にご紹介するよう努めました。

第三者意見での、「大変優れていると評価できること」では、すべてのステークホルダーへ適切な説明責任を果たしていると評価を頂いたことにつきまして感謝申し上げます。また、前述のように、ステークホルダーや関係者の声を交えたことについて高い評価を頂いたことは、大変ありがたいと思います。さらに、全員が社是・経営理念等のグループの基本的な考え方の実践に努め健全な企業風土を醸成することにより、事業を通じて社会的使命を遂行しているとのご指摘は今後の大きな励みになると考えます。

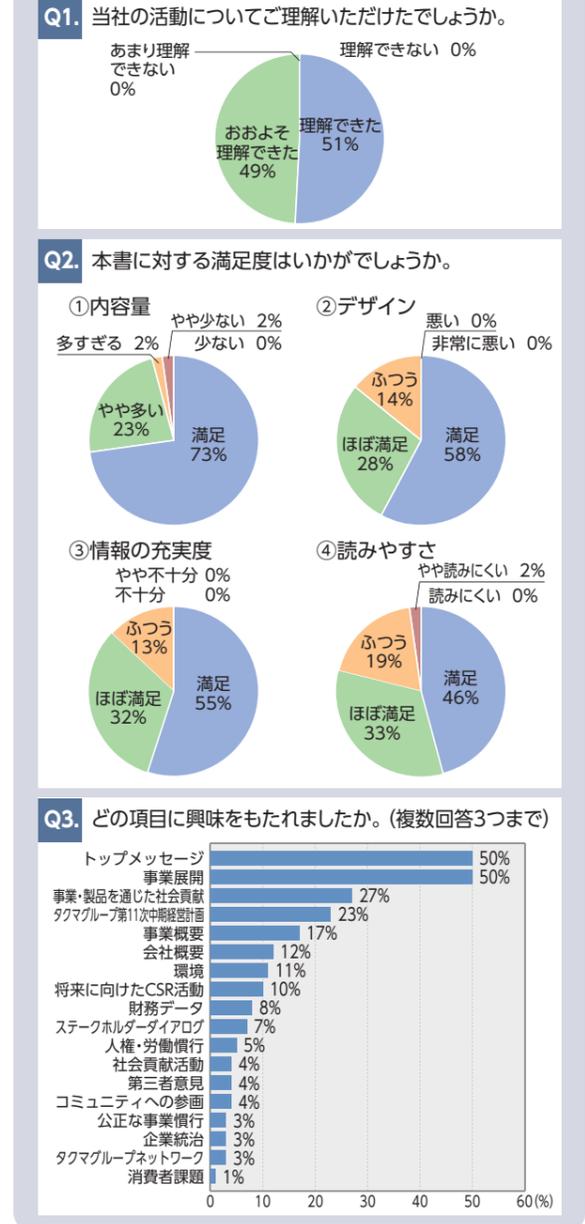
一方、「さらなる発展を期待すること」では、貴重なご意見を頂きました。将来に向けたCSR活動および人権に関する取り組みについては、ESG・SDGsに対する理解を深め、その観点から社会の期待・要請を整理し、ステークホルダーと価値の共有化を進めることにより、ステークホルダーとのコミュニケーションに役立てたいと考えます。

今回、ご指摘いただいた内容を真摯に受けとめ、CSR経営の推進とCSR報告書の充実を図ってまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 編集方針
「会社案内」および「CSR報告書」とし、当社の会社案内とCSR活動を記載しました。
- 発行者およびお問い合わせ先
株式会社タクマ
コーポレート・サービス本部 総務部
TEL(06)6483-2609
FAX(06)6483-2751
コンプライアンス・CSR推進本部 CSR部
TEL(06)6483-2673
FAX(06)6483-2751

「タクマ 会社案内 CSR報告書2016」アンケート結果

調査期間:2016年7月~2017年6月 回答数:955名



- 対象期間
原則として2016年(平成28年)4月1日から2017年(平成29年)3月31日までです。一部2017年度の活動内容を含んでいます。
- 対象範囲
原則として株式会社タクマおよび関係会社を対象としています。
- 発行時期
今回発行 2017年(平成29年)7月
次回発行 2018年(平成30年)7月予定
前回発行 2016年(平成28年)7月